玉造中だより
楽し学舎（まなびや）
No. 35
R2・1・20

玉中のために自分たちにできること

Picking up trashに108名が参加！

十五日、新生徒会主催の「Picking up trash」（ピッキング アップ トラッシュ）活動が行われました。この活動は玉中の伝統的な活動で、生徒が自主的に参加し、学校や地域に貢献するボランティア活動です。

「やらされる仕事」から「やる仕事」へ

今回の活動は「校内」を対象に、自分たちで、校内の汚れている箇所を探し、そこをきれいにしていくという活動でした。今回の活動には、百八名の生徒が参加し、それぞれの場所でグループで清掃に取り組んでくれました。

今回の活動を見ていて思ったことは、自分の意思で参加していたこともあり、普段の清掃よりも意欲的に自分から進んで汚れている箇所を一生懸命きれいにしている姿が印象的でした。「やらされている」と思っているとなかなか力が入っていきませんが、自ら動き出す仕事はスピードも速く、丁寧であるということを改めて感じることができました。

トイレの床掃除に取り組む1年生

昇降口の窓を拭く2年生

自分たちができることに「チャレンジ」！

三学期の始業式で、今年の合い言葉を「チャレンジ」としました。新たなことに「チャレンジ」することによって、自分の力を伸ばしてほしい、そういう意味でも、今回の活動にチャレンジしてみて気づいたこともたくさんあったと思います。どんどんこれからも自分たちができることに失敗を恐れずにチャレンジして、玉中をもっともっとよくしていこう。

私たちの学級

「共笑共進」

二年二組　河野・長島学級

私たち二年二組はとにかく明るい学級です。度が過ぎて時々うるさく感じる時もあります。とても個性的な人たちの集まりで、おもしろい人、しっかりしている人、優しい人など、いろいろな性格の人たちが一つになって毎日生活しています。

学級の目標は「共笑共進」です。これはいつも笑顔が絶えず、みんなで一つの目標に向かって進んでいこうという願いから付けられました。その目標通り、二組では何かあると、どんなことでも必ずみんなで話し合います。話し合うときは、いろいろな意見を出して本気で話し合い、これまで様々な問題を解決してきました。

担任は、河野先生と長島先生です。河野先生は優しくてかわいくて、誰からも好かれている先生です。長島先生は、とにかく真面目な先生ですが、時々、おもしろいギャグを言ったりするなど天然なところもあります。

この学級もあと二ヶ月余りで解散になりますが、残された期間をみんな笑顔で生活したいと思います。また、二組の弱点である「メリハリ」を付けた生活をこれからしていきたいと思います。

図書室においでよ！リニューアルされているのを知っていましたか？

辞書の楽しさを知るコーナー

行方市出身の作家コーナー

みなさん、最近図書室へ行っていますか？行っていない人は分からないかもしれませんが、以前と比べて室内も明るくなり、掲示物もリニューアルされて、今までとは違った雰囲気になりました。新たなコーナーとして、「辞書の楽しさを知るコーナー」や「行方市出身の作家コーナー」として、出久根達郎さんや小林光恵さん、額賀澪さんのコーナーが新設され、関係の本が用意されています。（行方市にも実は有名な作家がいたんですね。知っていましたか？）また、手塚治虫さんの作品全集も、今まで多目的室にあったものを図書室に移動してきました。

このように今回図書室がリニューアルされているのは、図書委員会や学校支援ボランティアの方が中心となって行ってくれました。

学校の文化の中心は図書室です。図書室に足を運んでたくさんの本を手にしてみてください。もしかしたら、あなたの将来を左右するかもしれない素晴らしい本に出会えるかもしれません。

編集後記

「強い心・強い体」

私は毎日、自家用車で自宅から通学路を通って出勤している。そうすると決まって同じ時間帯で出会う生徒たちがいる。その生徒たちと車の中から会うのが、私の一日の楽しみの一つとなっている。時刻は七時前。その生徒たちは自転車をこいで学校に向かっている。暖冬とはいえ、寒い日々が連日続いている。先週は登校時に冷たい雨が降っている日もあった。そんな雨の中を必死に一人で自転車をこぐ○○君。白いカッパを着て、雨に濡れながらも自転車の列を崩さない女生徒の集団。道路の一角で、雨に濡れながらも友だちが来るのを待っている△△君。共通することは、どの顔も「真剣」だ。厳しい寒さや雨にも負けず、真剣に学校に向かっている姿。その姿を見て、私は彼らから一日のエネルギーをもらっている。そして、代わりに彼らには聞こえないが、車の中から「がんばれよ！」と声をかけてしまう。きっと他の地域でも同じようにがんばっている玉中生がたくさんいるに違いない。

本校の校訓に「強い心・強い体」というのがある。なぜこのような校訓になったのかを考えてみたことがある。毎日、厳しい中でも、三年間継続していけば、必ずや「強い心・強い体」に近づけるということなのかもしれない。

校門前で登校の様子を見ていると、先ほど見かけた生徒たちが登校してきた。「よく頑張ってきたね」の気持ちを込めて朝の挨拶をする。すると元気な挨拶が返ってくる。どの顔もみんなたくましい。

（文責：小野口　吉政）